

# Creative Blue

新人大会

ふるさと探訪

2学年主任 芦澤 良美

## すべてを来年の夏につなげよう！～中巨摩新人大会～

10月9日（金）10日（土）と中巨摩新人大会が実施されました。大会に先立ち行われた壮行会では、各部の部長を中心に、新チームとしての目標や3年生への感謝の思いなどを堂々と発表し、「3年生から渡されたバトンをしっかりと受け、押原中学校を引っ張っていこう。」という意欲が伝わってきました。特に今回はコロナ感染症対策のため、校庭での壮行会でしたが、マイクを使わずに大きな声で決意を述べる場面もあり、大変頼もしく感じました。

大会当日は緊張やとまどいもあったようですが、どの部も自分たちの持っている力を発揮しようとがんばることができました。結果として「優勝」という目標を達成した部もあれば、惜しくも敗れてしまい、悔しい思いをした部もありました。しかし、今回は新人大会です。この大会でたくさんのことを学び、部活動への姿勢を良い方向に変えることこそが、「勝敗」以上に大切なことではないでしょうか。

大会後の昼の放送では、各部の部長から全校の応援に対する感謝の

気持ちと結果報告、そして新たな

決意が述べられました。また、学年集会では、部長会の担当でもある内田拓也先生から「本気で取り組んだことに価値がある。中巨摩、県大会と自分たちが試合を動かすことで、視野が広がっている。世界観が変わることに対する不安感を持つ人もいるが、そこでの失敗はOK、一生懸命やったことに無駄なことはひとつもない。」という励ましの言葉がありました。本当にそのとおりだと思います。新人大会を終えて、「悔しい思いもした

けれども、前よりもっと部活動が好きになった。」と話してくれた生徒がいました。新人大会の前よりもすばやく行動し積極的に活動している姿に、確かな成長を感じました。学んだことすべてを来年の夏の大会につなげて行ってほしいと思います。なお、結果の詳細は「学校だより」をご覧ください。

## ☆文化部・活躍中☆

美術部は10月の作品展に続き、2月の作品展に向けて構想を練っているところです。クリスマスやお正月やバレンタインデーなどのイベントに関する「しかけ」のある展示物を作る予定です。壮行会で心のこもった演奏をした吹奏楽部は「アンサンブルコンテスト」のオーディションに向けて日々の練習に精一杯取り組んでいます。自然科学部は11月7日（土）の「ロボコン山梨」にむけて、作品作りに励んでいます。



## 己跡～心はゼロデイスタンス、山梨の魅力を知り、愛そう！～

10月21日（水）、ようやく「ふるさと探訪」を実施することができました。保護者の皆様には、コロナ感染症対策の資料に目を通していただいたり、「ふるさと探訪健康チェック確認書」に確認をしていただいたりのご協力ありがとうございました。さまざまな制限はありましたが、天気にも恵まれ、秋の山梨の魅力をも十分に味わうことができたように思います。

峡北コースは、「八ヶ岳ふれあいセンター」で、「ガイドウォーク」を実施後、「ポールラッシュ記念館」、「ヤマネミュージアム」を見学し、清里の自然や歴史についての理解を深めました。昼食後は、「浅川伯教・巧兄弟記念館」で朝鮮工芸の美に見せられた浅川兄弟の業績について知りました。最後は「オオムラサキセンター」。オオムラサキだけではなく、昆虫全般について触れ、充実した時間を過ごしました。



峡東・東部コースは、「猿橋」「リニア見学センター」「県立博物館」「恵林寺」が見学場所です。「猿橋」の不思議さに驚き、「リニア」に未来を感じ、「博物館」では昭和町についても学び、「恵林寺」に武田信玄を思うという、歴史と未来を考えるコースでした。



甲府コースは、まず「昇仙峡」。弥三郎岳からは甲府盆地を一望できました。メノウ割りの体験などもしました。昼からは歴史を訪ねて「武田神社」・「信玄ミュージアム」・「善光寺」へ。最後は「県立美術館・文学館」で山梨の美術と文学に触れることができました。



富士山麓コースは、「風穴・氷穴」「忍野八海」「富士山世界遺産センター」「富士浅間神社」「湧水の里水族館」「西湖ネイチャーセンター」を興味・関心に沿って3つのコースに分かれて見学しました。いつも押原中学校から見えている富士山の偉大さ、奥深さを感じ、改めて山梨の魅力を発見できたようです。



現在、事後学習として「紹介文」と「レポート」を作成中です。文化や自然はそれを守ろうという意識を持つ人たちによって受け継がれていくということを学んだ「ふるさと探訪」でした。この体験を修学旅行につなげていきたいと思います。

